

## 豊島住民大会 宣言（案）

豊島の住民運動は今年で二十五年目を迎えています。

私たちは、反省しない県行政に対し、そのかたくなな姿勢を改めさせるため、香川県内一〇〇カ所の座談会を開き、豊島問題に対する理解と県政を変えなければならぬ必要性を説きながら県内を回りました。

この運動を通して私たちは学びました。「県政を変えていこう」という新しい一步を踏み出すには大きな勇気が必要になることを。そして自らが勇気をだして踏み出さない限り、何も変わらないし、誰も変えてはくれないことを悟ったのです。

そして私たちは、決意し、石井亨さんを県議会議員選挙の候補者として送り出したのです。また、それだけではありません。島民一人一人が自ら考え、歩み出しました。あるものは広い小豆島を、一軒一軒理解を求めて歩き回り、またあるものは、一日数百件も電話をかけ続けました。

その結果、石井亨さんを当選させることができました。これまでの私たちの訴えや努力が県民に届き、「豊島の心」が小豆島で選挙勝利という形になってあらわれたのです。香川県民は県の姿勢を容認していないことがはっきりしました。また、私たちは、「お上頼み」でなく、県議会で直接訴える新しい道筋をつくったのです。

香川県は、この選挙の結果を真摯に受け止め、豊島問題の真の解決のため、これまでのかたくなな姿勢を改めなければなりません。

私たちは、技術検討委員会の報告書が完成されようとしている今、公害等調整委員会・技術検討委員会の協力のもと、早期に紛争を解決し、香川県と新たな信頼関係を築き、全国民が注目している産業廃棄物を適正に処理し、一日も早く美しい豊島を取り戻すことに全力を尽くすことを宣言します。

一九九九年四月二十五日

豊島住民一同